

2008年2月3日

『若者自立支援の3年を問う』

## 「若者自立支援、10年後を見据える」

玄田 有史

1. よくやった3年間。でも、ちょっとみんな疲れていないか。
2. 若者論ブームの終り。これからが本当の正念場と考えよう。
3. 「若者問題は終わった」という認識は広がっている。社会の関心は再び集まるか。
4. 確かに雇用対策だけでは限界。でも家庭や福祉に切り込むのは超難しい。
5. 連携は大事。でもどうやって？「連携という名のたらい回し」は名言。
6. 5年後、10年後を見据えて一番大切なことは、支援者が「生き残る」こと。
7. 「地域にもっと溶け込む」「他の支援者と知り合いになる」「ビジネスと割り切る」
8. 若者が少数派となる10年後は、チャンスとリスクの両方がある。